

200号発行を祝して

世話人代表 氏名削除

TTC通信が、発足以来一度も途絶えることなく16年8ヶ月の歳月を経て、発行200号を迎えることになりました。諸先輩の継続的な努力に対して敬意を表するとともに、この記念すべき節目に立会うことができた皆さまと、心より慶びを分かち合いたいと思います。

TTC通信は会員間のコミュニケーションツールとしての機能を果たすことはもとより、ウェブでの公開によって新たな仲間を開拓するための重要な情報源となっています。またたび当月号が発行されると過月号はTTCアーカイブスとして、私たちが積上げている活動を各人の記憶に留めるだけでなく、記録の一つとして残す役割を果たしていることも、とても重要と考えます。

TTCが今後とも発展していくために、次世代へのバトンタッチを可能な限りスムーズに行なっていく必要があります。それぞれ着実に進んできていると思います。しかしながら、現在の三代目TTC通信編集者は十年以上に渡って担当されてきており、その引継ぎが大きな課題の一つとして残っています。

次世代を担う者の一人として課題解決に協力を惜しみませんが、非常に充実した内容ができるだけ特定の個人への負担とならないようにどのように受け継いでいくか、いろいろな方を巻き込んで考えていきたいと思っています。

TTC通信の200号発行にあたり、当クラブの永続的な発展を祈念して、ご挨拶に代えさせていただきます。

TTC通信200号発行に寄せて

前世話人代表 氏名削除

TTCの発足と同時に1997年4月1日の初版からTTC通信を毎月発行して200号の発行を迎え、誠にありがとうございます。

簡単に200号といいましたが、16年8ヶ月の年月を数えます。もちろん、初版発行時に私はTTCに入会してはいません。

TTC通信の内容構成が今日のようなになったのは、2002年4月号からで、2009年9月号からは更に内容が充実して2ページとなり、進化を続けています。

TTC通信は当クラブとシンクロして歩んでおり、メンバー間のコミュニケーションツールとして、時に新規会員の貴重な情報源として有効に利用され今日を迎えています。

初版号から編集に携わってTTCの充実と発展にかかわり続けているM氏に心から感謝を申し上げます。

このコメントを作成するにあたって、記念誌『やまなみ』のTTC通信をめくっていきますと2005年4月号に新メンバー紹介で私の名前が出ていました。その号を懐かしく時間を掛けて見てしまいました。

そうですねTTC通信は、入会紹介や会員の皆さんの動向、山行計画・実施報告やメンバーの山行の思い出等全員参加型のかかわり版で、凝縮された内容はTTCの歴史が書いてあると言っても過言ではありません。

今後ともTTCと共に歩んでいき、歴史を一つ一つ刻んでいくことを期待していますし、TTC通信の編集に後継者ができることを望んでいます。

TTC公式サイトが正式に稼働しました

11/1から下記に移転しました。

新URL: <http://ttc.moo.jp>

TTCの更なる発展に向けて

編集担当 氏名削除

3代目編集担当として、私が初めてTTC通信を発行したのが61号、A4版1ページに納まり切れなくなって2ページ編集にしたのが150号から。このボリュームアップにより、それまでの単なる広報機能のみから、メンバー全員参加によるフリー随筆「山に想う」や「山の花・野の花」、「安全登山豆知識」等の連載記事を加えて内容の充実を図り、今日の200号記念号発行に至っている。

TTC発足以来約17年間、1回も休むことなく、TTC活動になくはないコミュニケーションツールとして、毎月発行し続けられたことは、TTCの誇りであり、これもひとえにメンバー各位のご理解とご協力の賜物である。

会員向け月刊紙として発刊し、紙への印刷形式を今も引き継ぎ、A4版2ページにきっちりと収める紙面構成は相当な編集技術とスキル・労力が必要である。このため、4代目編集者に引き継げずに今日に至っている。

K氏のご努力で10年前に上げたホームページのサイト管理者交代とサイトのリニューアルオープンが、奇しくも200号記念発行と時を同じくして実現した。この間、TTCメンバーのコミュニケーションツールは、紙ベースからWebベースに確実に進化した。また、TTC通信もメンバー間のコミュニケーションツールという目的を超え、リメイクしたWeb掲載版をTTCホームページに掲載し、TTCの活動内容を外部に紹介する有力なPRコンテンツの役割を果たしている。

200号発行を一区切りとして、新編集者に交代し、部内/部外のコミュニケーションツールの位置づけを整理した上で、TTC通信を編集の自由度が大きいWebベース版編集に変更するのが望ましい。

山行希望アンケート提出に協力を！

10 月末提出期限でメンバ全員にお願いした来年度山行希望アンケートは、11/16 現在 49 名の方から回答頂いておりますが、7 名の方からまだ回答が寄せられておりません。来年度の山行計画は、メンバ全員の意向を最大限反映させて作成したいと存じます。現在アンケートの集計作業中ですので、まだ間に合います。アンケート回答へのご協力をお願いします。

11 月安全登山教室で松田警察署山岳救助隊リーダーの講演

11/16(土)実施の安全登山教室講師に、丹沢山城の遭難救助隊リーダーとして長年ご活躍の神奈川県警氏名削除様をお招きし、丹沢山城での山岳遭難事例についてビデオ映像を交え、貴重なお話を伺いました。我々の身近な山域で発生している悲惨な遭難事故について改めて実感し、TTC では安全登山最優先の行動指針をさらに徹底し、遭難事故は絶対起こさないとの決意を新たにしました。

百名山完登者から寄贈報告

9 月に日本百名山を完登された E さんより、完登記念として、TTC に金一封 ¥10,000 の寄贈がありました。ご好意を有難くお受けし、今後共同装備品を購入する際に役立てたいと存じます。とりあえず、カンパ金会計に計上しました。ありがとうございました。

今季スタートレシ仕様レンタル料金

- ・マイクロバス：+¥3,150/日
- ・ハイエース：+¥1,050/日

山行実施結果報告

☆塩原溪谷・自然探究路(ゆ)★

☆10/26(土)-27(日)1泊2日。マイクロバス利用。申込:17名。CL/計画:、SL、会計:、救護:スタッフ名削除。台風 27 号接近により中止。

☆屋久島宮之浦岳・永田岳・白谷雲水峡(提案)★★★

10/27(日)-30(水)3泊4日。航空機/バス/利用。無人小屋2泊/民宿1泊。参加8名。天候:晴。CL/計

画:、SL、会計:、救護:スタッフ名削除。台風一過好天に恵まれ予定コースを完歩。

◇滝子山寂尚尾根(提案)★★

☆11/9(土)日帰、マイ3台利用。参加13名。天候:曇時々晴。CL/計画:、SL、会計:、救護:、車提供:スタッフ名削除。急登と名残りの紅葉を楽しむ。

◇曲岳・黒富士(ゆ)★★

11/17(日)日帰、マイ3台利用、参加16名。天候晴。CL、SL/計画:、会計:、救護:、車提供:スタッフ名削除。南アや富士山の大展望と岩場のスリを楽しむ。

至近の山行予定

◆陣馬山・高尾山(定例)★★

11/23(土)日帰、公共交通利用、申込18名。CL/計画:、SL、会計:なし、救護:スタッフ名削除。

◇足和田山(提案)★

12/7(土)日帰、スタートレシマイクロバス利用、申込15名。CL/計画:、SL、会計:、救護:スタッフ名削除。

◆武甲山忘年山行(定例)★★

12/21(土)-22(日)1泊2日、公共交通利用、申込26名。CL/計画:、SL:、会計:、救護:スタッフ名削除。秩父浦山山荘で忘年会&12月例会開催。

◆金時山新年山行(定例)★☆

1/11(土)日帰、公共交通利用、申込21名。CL/計画/会計:、SL、救護:スタッフ名削除。下山後小田原で新年会開催

◇竜ヶ岳(提案)★★

1/25(土)日帰、スタートレシマイクロバス利用。申込15名。CL/計画:、SL、会計:、救護:スタッフ名削除。富士展望スノーハイキング。

12月募集山行

◆道志菜畑山・今倉山(定例)

★★2/8(土)日帰、スタートレシマイクロバス利用。計画:氏名削除。相当量の積雪が予想されます。6本爪以上のアゼン必携。

山に想う

私の登山の原点

#093 氏名削除

私が山の魅力に取りつかれた

のは、子供のころの経験がもたっているように思う。

寺の広い庭を縦横無尽に走り回り、生えている木という木に登り、墓石をぴょんぴょん跳び移って遊んで、でもそれだけでは飽き足らず、近くのエを探検したり、崖を登ってみたり本当にお転婆な子ども時代だった。そんな中で、自然の中にいることの心地よさと満足感を子ども心に十分味わったことが山登りの原動力になっているのだと思う。

40歳代になり時間に余裕ができると、山への興味が湧いた。TTCでお世話になる前には、ツアーであちこちの山に登っていた。一人で参加することへの抵抗は全くなく、その時々隣り合わせた方とおしゃべりするのが楽しいと感じていた。

けれども、TTCの皆様とご一緒させていただくようになってからは、楽しさが倍増した。基本的なことを何も知らない私だったが、例会や山行の中でいろいろなことを教えていただいた。

山行の中で見かけたたくさんの花の名前も、教えていただきながら覚えることができた。時には、息をはあはあ言わせて山に登りながら、そのつらさに内心、「来なければよかった。」と思うこともある。

でも、登り切った満足感と、苦勞して登ったものにしか味わえないような絶景に出会うとそんな気持ちが吹き飛ぶ。何よりも気心の知れた仲間と、苦勞と感動を分かち合い、心から楽しかったと思える時間を積み重ねていられることを本当に幸せだと感ずる。

これからも、偉大な先輩方の後を追いかけて、自分の可能性を追及していきたいと心から思う。

次回は氏名削除さんの登場です。

12月例会:12/22(日)忘年山行宿泊先(秩父浦山山荘)にて実施。安全登山教室、世話人会はありません。